

第 72 回調査研究委員会報告書

1. 日 時 令和 5 年 11 月 15 日(水) 13 : 00 ~ 16 : 00

2. 場 所 各事業所 (リモート)

3. 出席者	調査研究委員長		泰 楽 秀 一
	調査研究委員	北海道地区	道 端 忠 志
	同	東北地区	須 賀 律 人
	同	北陸信越地区	島 田 涉
	同	関東地区	吉 岡 一 三
	同	中部地区	大 原 孝 司
	同	関西地区	松 本 礼 士 郎
	同	中国地区	定 光 純 一
	同	四国地区	竹 本 健 治 (欠席)
	同	九州地区	柴 田 宗 宏 (欠席)
	担当副会長		芝 幸 宏
	会 長		小 倉 龍 一

4. 挨拶

大原副委員長より開会宣言があった後、泰楽委員長より挨拶が行われた。

5. 議 題

議題 1 調査研究委員会 令和 5 年度事業計画について

○第 7 1 回調査研究委員会の振り返り

委員会報告書参照

○令和 5 年度事業計画について

各チームより、令和 5 年度の調査研究委員会事業計画の進捗報告がなされた。

レバーレートチーム

前回委員会で発表した活動方針である、「全国津々浦々リアルタイムに情報共有できるシステム」についてグループ内で検討した。

個々人各々の理解度が異なる中、委員会で決定した内容を一言一句相違なく伝えるために、出来るだけ人数を介せずにシンプルに落とし込む必要がある。委員会や単組代表者等グ

ループを作成し掲示板を介して一斉に情報を共有できるようにしたい。「Google drive」については、ルール等運用を鑑みた際に合致しない。代替案として「メーリングリスト」等サービスが望ましいが、想定する参加員数を鑑みれば「有料運営」である事、また新規登録を受け付けていないことが現状のネックとなる。今後、他のサービスも含め試験的に各ブロックで運用してみて、統合を視野に入れていく。

廃棄物チーム

中小企業組合等課題対応支援事業（SDGs）について、ワーキング委員会A～Dを開催し、廃棄量低減、リサイクル、塗料材料、次世代自動車等について専門家からヒアリングを行った。事前に行ったアンケート調査結果についても報告し、専門家と意見交換を行った。

また、コンプライアンスチェックシートの作成事業も同時に進めている。

12月に第2回ワーキング委員会を行い、ワーキング委員会で検討した結果を1月に成果普及講習会として東京、大阪の2会場で報告する。

材料代チーム

前年度に行ったアンケート調査を基に、钣金材料代及び塗料・副資材の実態検証を行った中で、実車を用いて講習会を行ったほうが分かりやすいが、単組によっては用意できないこともあり、座学用に簡易版を作成した。

泰楽委員長より

ビジョンプロジェクトについて

株式会社プロトリオスの親会社であるプロトグループが運営しているグーネットピットに、全国の自動車車体整備協同組合の組合員を掲載したいと打診があった。

団体交渉について

広報委員会と連携し、ホームページやSNSで情報を発信していく。

進捗としては、団体交渉を行っていくことに関して、公正取引委員会は独占禁止法に抵触しないか慎重に調査を進めている。そのため様々な追加質問、調査依頼をされており進みは遅くなっている。車体整備事業者と保険会社との間取引の実態があるかどうかは中小企業庁が判断することであり、中小企業庁としてはあると認識している。以前委員に依頼した、メガ損保4社の対物100：0、車両0：100について改めて資料提出の協力を依頼した。

【各委員より】

・団体交渉もSDGsもそうだが、組合員に対して事業やそれにかかる必要経費、メリット等を説明しなくては、理事長や委員ばかり大変でそれ以外の人には何をやっているのか情報が伝わりにくい。

- ・廃棄物のポスターはどうなったか？→料金は支払ってある。印刷会社に連絡し、データが届き次第展開する。
- ・溶接ヒュームやフィットテストについては調査研究委員会で調査するのか？→技術委員会の管轄だが、今は溶接技術資格に注力しており手を付けていない。関東では調査研究委員会が管轄している。
- ・高機能材料の保険金過払いの問題で、調査が入った事業所はあるのか？→北海道では、ディーラーから販売店まで調査した事例がある。

議題2 次回開催日の決定

- 開催日時 令和6年1月17日(水) 13:00～16:00
- 開催場所 リモート(ZOOM)

以上のおり調査研究委員会の提出議案の全ての審議を終了し、須賀副委員長の閉会宣言をもって16時00分に閉会した。